

## 祝上棟！伝統的な「餅まき」



□現在の餅まき（餅投げ）の起源を、厄・災いを祓うために餅や銭をまく散餅銭（さんぺいせん）の儀とする説があります。

□KenG工房では建築中社屋の上棟式後に、屋根や2階から紅白の餅と紐をつけた穴あきの小銭を縁起物としてまきます。お気軽にお越し下さい。



### \* 建築の儀式



▼地鎮祭▼ → その土地の神に、土地を利用させてもらう許しを得るため、建築開始前に工事の無事を祈る儀式です。地鎮祭は、地域によって鎮地祭・地祭り・地祝い・安全祈願祭とも呼ばれています。

▼完成式▼ → 建前（たてまえ）、棟上げ（むねあげ）とも呼ばれています。柱や梁等の基本構造が造られ、棟木を上げるときに行われる、竣工後の無事を祈る儀式です。一般に完成式の日餅まきが行われます。



### \* 餅まきのご案内

日□□時：2月24日（金）

午後3時00分～午後4時30分

場□□所：KenG工房

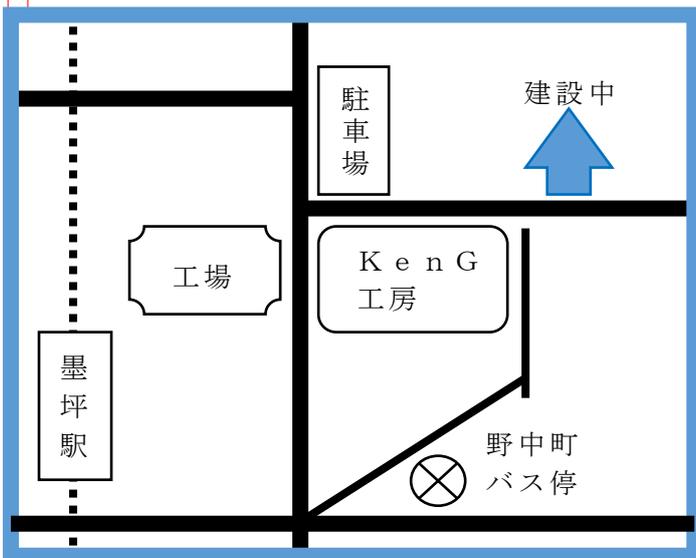
新社屋建設地□大工市野中町11-62

☆今回の餅まきは、子供用のお菓子袋も用意しています。

※雨天の場合、完成式のみ（餅まきは延期します）



### <餅まき会場地図>



### <アクセス>

墨坪駅から徒歩10分

野中町バス停から徒歩5分

### さしがね

□大工七つ道具の一つとして知られているL字型の金属製物差し、さしがね（差し金、指金、曲尺など）。その起源は、聖徳太子の時代（四天王寺建立時）まで遡ると言われています。

